



2021年9月期

第1四半期 決算説明会

2021年2月2日

株式会社セプテーニ・ホールディングス

- 01 四半期連結決算概要
- 02 デジタルマーケティング事業
- 03 メディアプラットフォーム事業
- 04 新たな事業セグメントへの拡張
- 05 業績予想に対する進捗状況
- 06 補足資料

2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております

従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております
デジタルマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります

事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております

Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です

本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております。

01

四半期連結決算概要

連結

前年同期比、前四半期比で増収増益

収益 **5,275**百万円 (YonY+**20.9%**)

Non-GAAP
営業利益 **1,215**百万円 (YonY+**97.9%**)

デジタル
マーケ
ティング
事業

オンライン消費拡大による需要取り込みにより増収増益

収益 **4,704**百万円 (YonY+**22.6%**) Non-GAAP
営業利益 **1,971**百万円 (YonY+ **53.2%**)

メディア
プラット
フォーム
事業

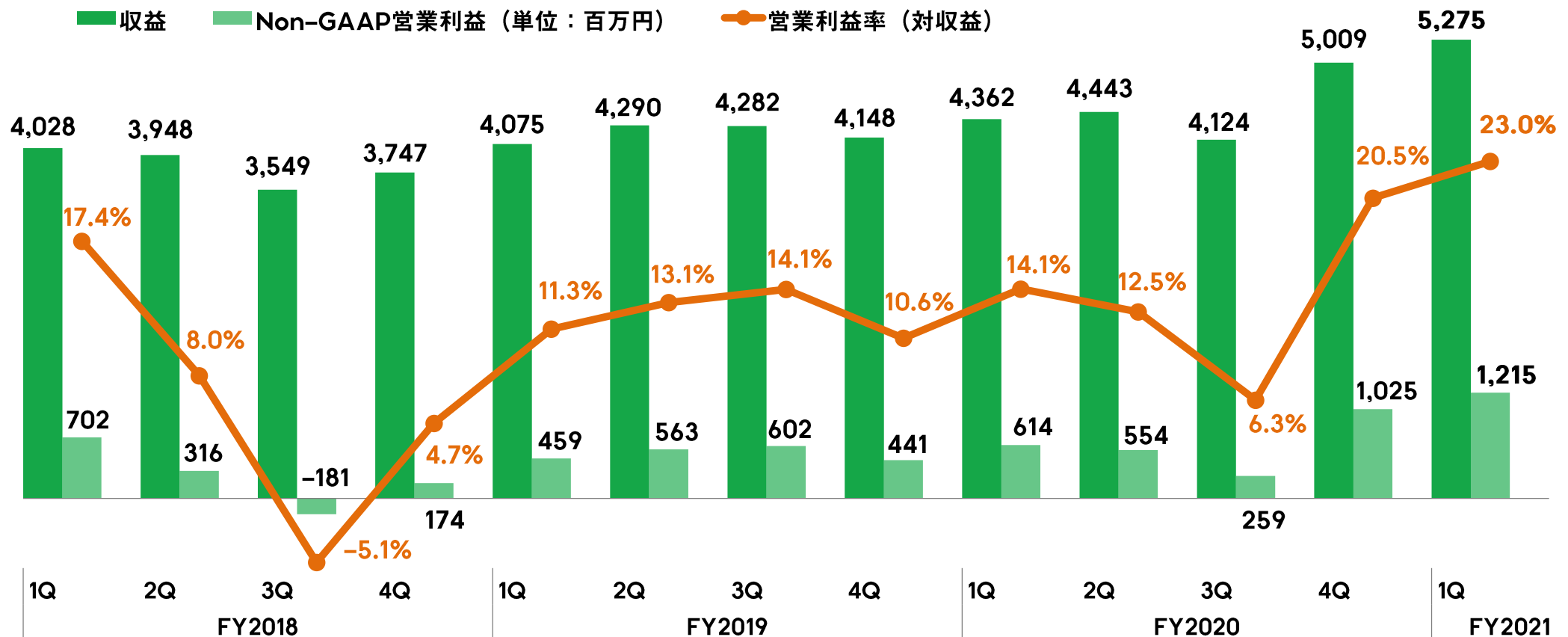
増収により収益は過去最高を更新、赤字拡大

収益 **660**百万円 (YonY+**8.9%**) Non-GAAP
営業利益 **-263**百万円 (YonY 53百万円
赤字拡大)

前年同期比で当期利益は大幅に増加

(単位：百万円)	2021年 9月期 1Q			2020/ 9期 1Q		2021年 9月期 通期業績予想	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	5,275	100.0%	+20.9%	4,362	100.0%	20,000	26.4%
売上総利益	4,271	81.0%	+20.2%	3,552	81.4%	—	—
販売管理費	3,061	58.0%	+3.2%	2,968	68.0%	—	—
Non-GAAP営業利益	1,215	23.0%	+97.9%	614	14.1%	2,850	42.6%
営業利益	1,205	22.8%	+110.4%	572	13.1%	—	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	865	16.4%	+123.2%	388	8.9%	1,785	48.5%
【参考】売上高	23,027	—	+20.0%	19,187	—	85,000	27.1%

収益、Non-GAAP営業利益ともに過去最高を更新 生産性の向上により利益率も伸長

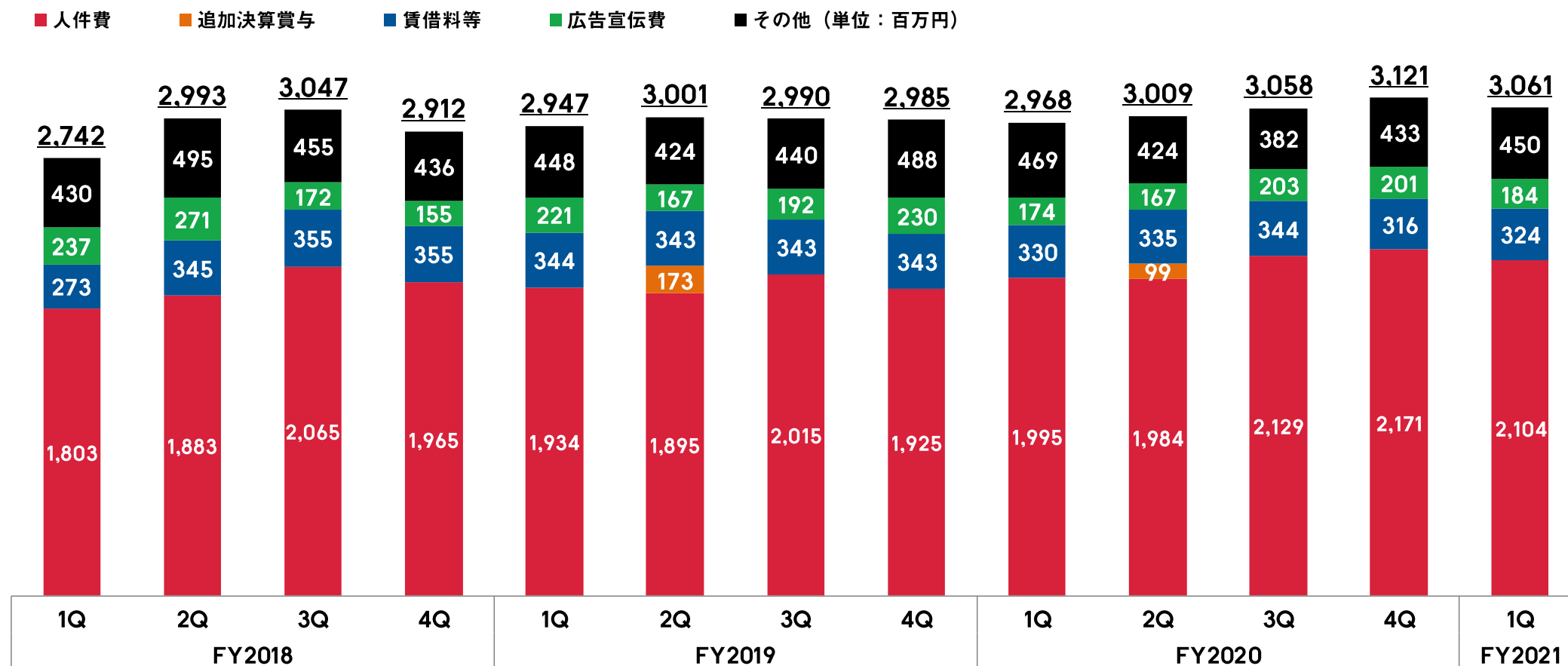


クリエイティブ外注費を中心に売上原価が増加

(単位：百万円)	FY2019				FY2020				FY2021	QonQ	YonY
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
売上原価合計	673	740	690	730	810	853	810	869	1,005	+15.6%	+24.1%
人件費	273	286	230	239	251	257	268	287	296	+3.2%	+17.8%
外注費	95	143	98	112	118	131	138	84	240	+187.4%	+104.0%
その他	306	311	362	378	441	465	404	499	468	-6.1%	+6.3%
販管費合計	2,947	3,001	2,990	2,985	2,968	3,009	3,058	3,121	3,061	-1.9%	+3.2%
人件費	1,934	1,895	2,015	1,925	1,995	1,984	2,129	2,171	2,104	-3.1%	+5.5%
追加決算賞与	—	173	—	—	—	99	—	—	—	—	—
賃借料等※	344	343	343	343	330	335	344	316	324	+2.6%	-1.9%
販促費・広告費	221	167	192	230	174	167	203	201	184	-8.8%	+5.5%
その他	448	424	440	488	469	424	382	433	450	+3.9%	-4.0%

※2020年9月期よりIFRS16（リース会計基準）の適用に伴い、賃借料等の一部を金融費用として計上

在宅勤務体制が続き、営業関連費用を中心にコストが抑制



※2020年9月期よりIFRS16（リース会計基準）の適用に伴い、賃借料等の一部を金融費用として計上

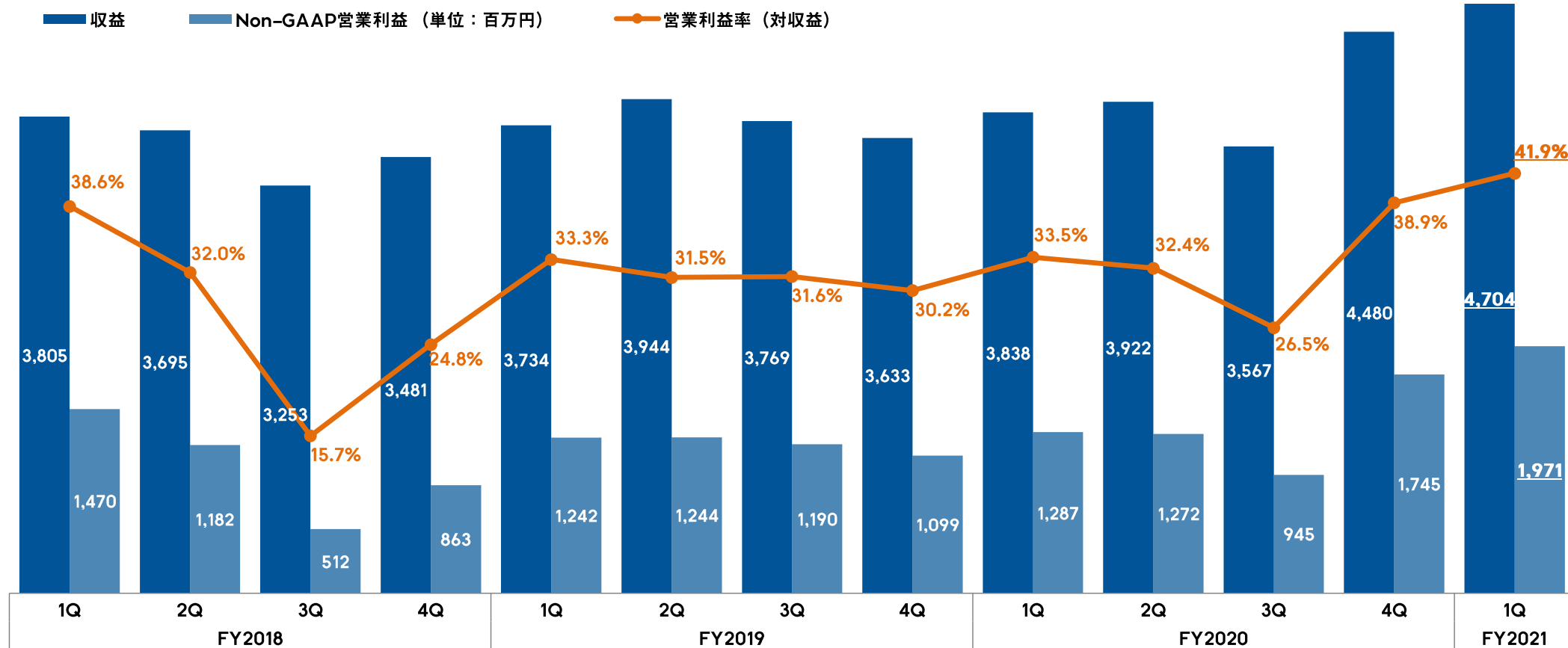
02

デジタルマーケティング事業

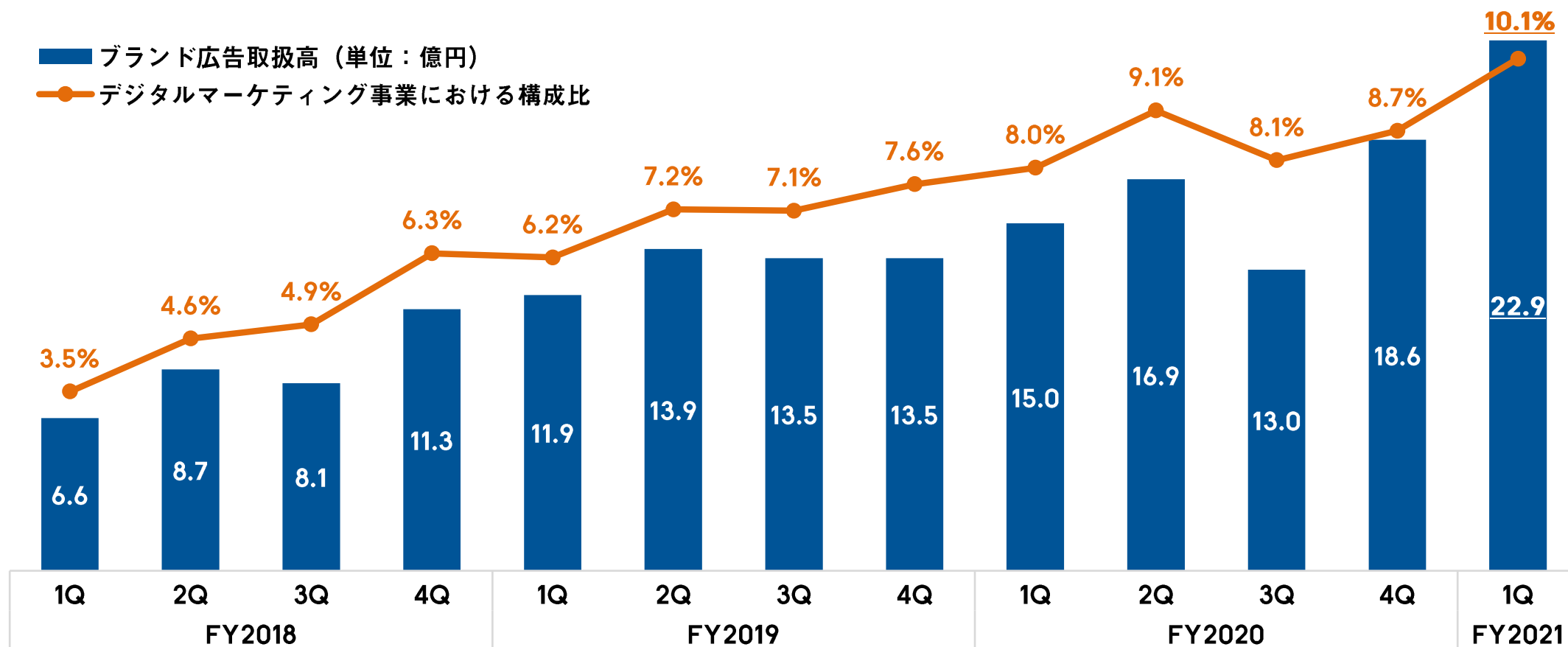
引き続きオンライン消費の需要が強く、売上高、収益ともに
前年同期比+20%超の伸び、業績予想に対しても順調な進捗

(単位：百万円)	2021年 9月期 1Q			2020/ 9期 1Q		2021/ 9期 通期業績予想	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	4,704	100.0%	+ 22.6%	3,838	100.0%	17,300	27.2%
売上総利益	4,044	86.0%	+ 21.8%	3,319	86.5%	—	—
販売管理費	2,078	44.2%	+ 1.6%	2,046	53.3%	—	—
Non-GAAP 営業利益	1,971	41.9%	+ 53.2%	1,287	33.5%	5,700	34.6%
【参考】売上高	22,605	—	+ 20.4%	18,770	—	—	—

顧客単価が上がり、生産性が向上
在宅勤務体制継続によるコスト管理も進み、利益率が大きく上昇



これまで注力してきたブランド広告の比率が10%を突破



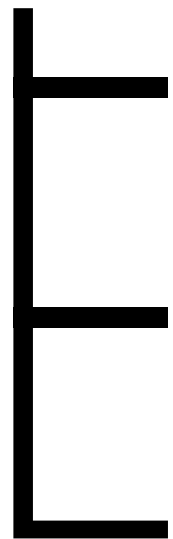
データ・ソリューション領域の強化を目的に、 中間持株会社、セプターニ・データ・ソリューションズを設立



SEPTENI

セプターニ・データ・ソリューションズ

データ・ソリューション領域を統括する中間持株会社



FLINTERS

FLINTERS

広告の配信やクリエイティブ制作にかかるソフトウェア開発等を手掛ける

TRICORN

トライコーン

企業のCRM活動を支援するクラウド・デザイン・コンサルティング等のサービスを手掛ける

milogos

ミロゴス

LINE活用ツールをはじめとしたソリューションサービスを提供

▶ 高まるDX需要を捉え、中計方針の「データ・ソリューション領域への拡張」を推進

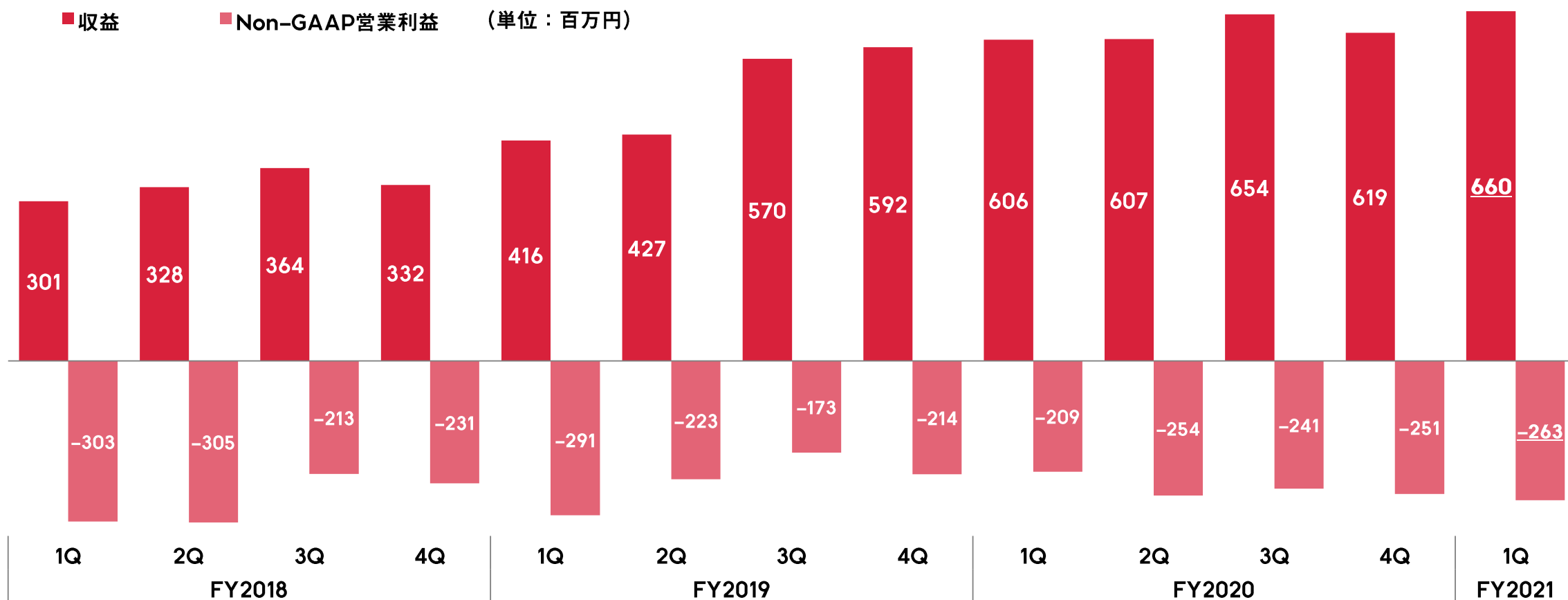
03

メディアプラットフォーム事業

収益は業績予想に対して堅調に進捗

(単位：百万円)	2021年9月期 1Q			2020/ 9期 1Q		2021/ 9期 通期業績予想	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	660	100.0%	+8.9%	606	100.0%	3,000	22.0%
売上総利益	309	46.7%	-0.3%	309	51.1%	—	—
販売管理費	571	86.5%	+9.7%	521	85.9%	—	—
Non-GAAP 営業利益	-263	—	-53	-209	—	-800	—

利益率の高い広告収益の減少により、赤字幅が拡大



COVID-19の影響を受けていた広告収益が徐々に回復、
課金収益も堅調に拡大

※FY2018/ 1Qの収益を100として指数化

■ 課金

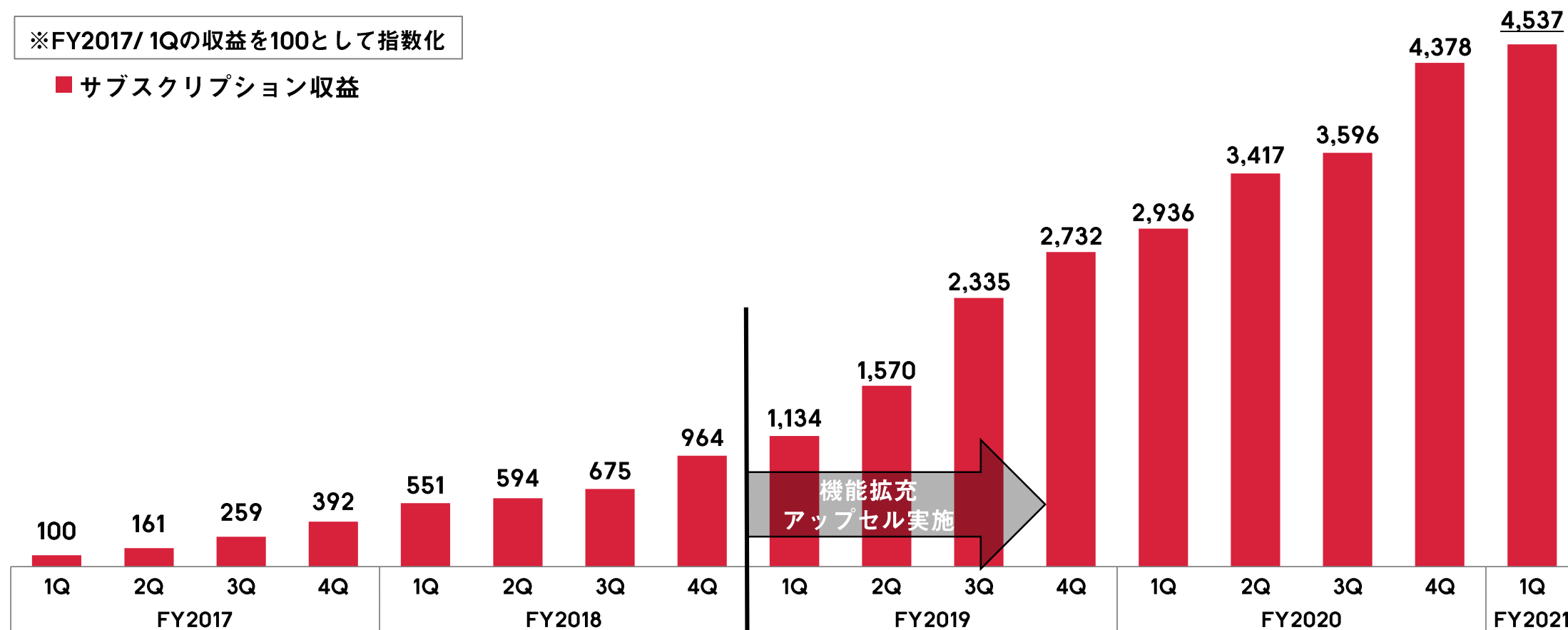
■ 広告



2020年12月に一部機能アップデートを実施 サブスクリプション収益は前年同期比で約1.5倍に

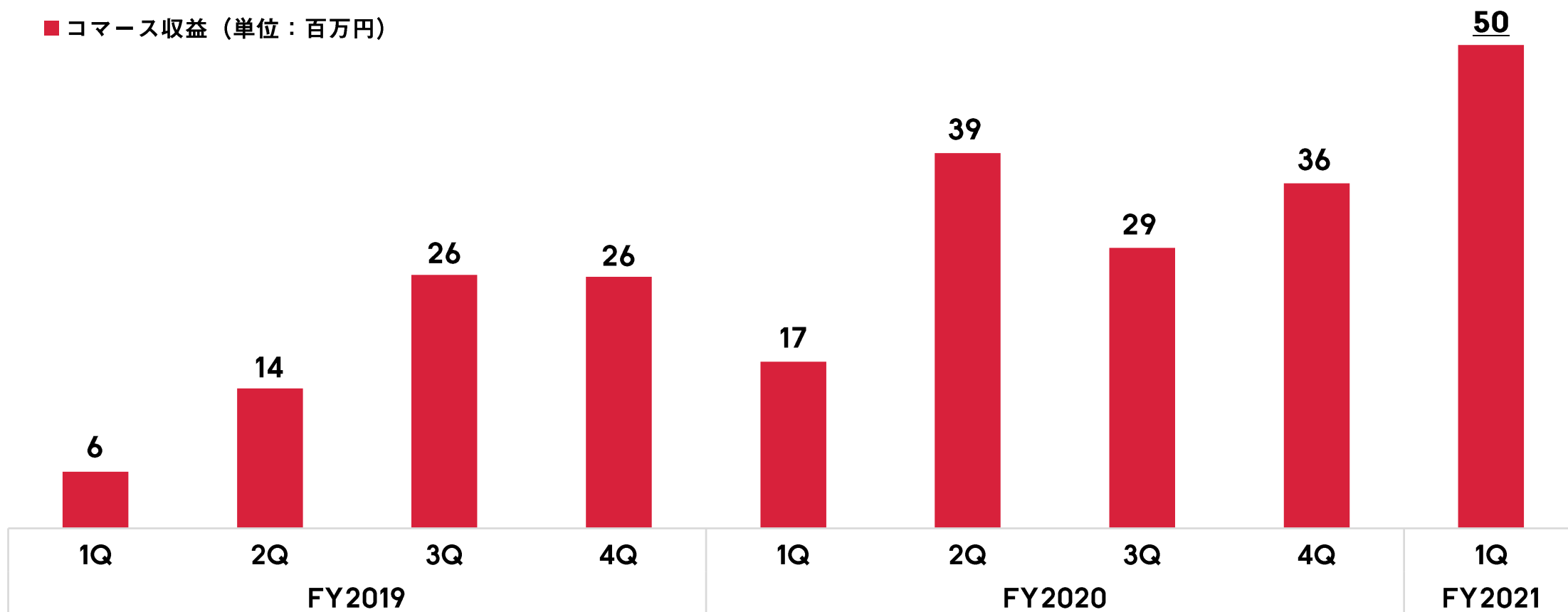
※FY2017/ 1Qの収益を100として指数化

■ サブスクリプション収益



クラウドファンディング、電子書籍を中心とした
コマース領域に注力し、課金収益の拡大を図る

■ コマース収益（単位：百万円）



※コマース収益：電子書籍、クラウドファンディングを合計したコンテンツ販売収益



マンガコンテンツ事業

アニメ事業強化を目的として、
アニメ制作・プロデュースを手掛ける
新会社、Qzil.laを設立

※本件の詳細につきましては、2021年2月1日公表のプレスリリースをご参照ください



D2C領域の事業開発強化

新会社としてアルファブルを設立し、
メンズメイクブランド
「MULC（ムルク）」をローンチ

04

新たな事業セグメントへの拡張

既存ドメインの拡張

デジタル
マーケティング
事業

EC広告領域の展開強化
データ・ソリューション領域のグループ体制拡充

メディア
プラット
フォーム
事業

ユーザ課金領域への注力
D2C領域の事業開発を強化

新たな
事業
セグメント

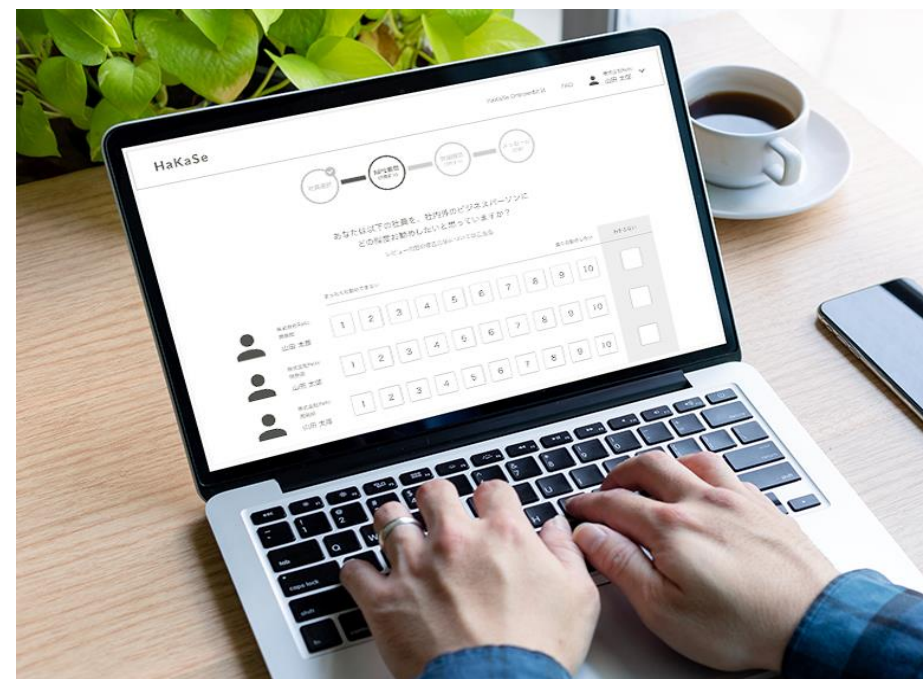
業界フォーカスによりDX需要を取り込む
HRテクノロジー領域の事業化

NEW!

新規ドメインへの拡張

HRテクノロジー領域の事業化を目指し、 グループ知財の外販を開始する

新会社として人的資産研究所を設立し、新入社員の早期戦力化を実現する
オンボーディングシステム「HaKaSe Onboard」の開発・販売を開始
(AIを活用した360度評価アルゴリズムの特許出願中)



05

業績予想に対する進捗状況

順調に進捗、外部環境変化のモニタリングに
期間を要するため、現段階での業績予想は据え置く

（単位：百万円）

収 益

5,275

20,000

進捗率

26.4%

Non-GAAP
営業利益

1,215

2,850

進捗率

42.6%

親会社所有者
帰属当期利益

865

1,785

進捗率

48.5%

28 業績予想に対する進捗状況（セグメント別）

デジタルマーケティング事業

（単位：百万円）

収 益

4,704

17,300

進捗率 27.2%

Non-GAAP
営業利益

1,971

5,700

進捗率 34.6%

メディアプラットフォーム事業

（単位：百万円）

収 益

660

3,000

進捗率 22.0%

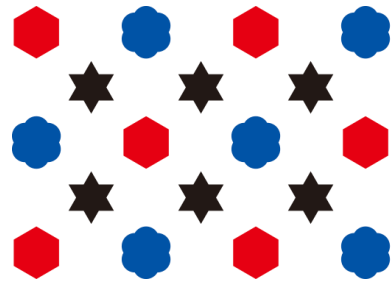
Non-GAAP
営業利益

-263

-800

対予想 32.9%

本日はありがとうございました



SEPTENI

お問い合わせ先

セプテーニ・ホールディングス 経営企画部IR課

www.septeni-holdings.co.jp

E-mail : ir@septeni-holdings.co.jp

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2021年2月2日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります

06

補足資料

【 ミッション 】

ひとりひとりの
アントレプレナーシップで
世界を元気に

【 ビジョン 】

強く偉大な企業をつくる

【 社是 】

ひねらんかい

Speed

巧遅（こうち）より拙速（せつそく）。私たちは、「速さ」を優先し、トライアル&エラーを繰り返すことで、より高い完成度を目指します。

Stretch

目標は高く。私たちは、高い目標をクリアするためのイノベーションを大切にします。日々の変化の積み重ねが、目覚ましい成長につながります。

Partnership

互いに成長する。私たちは、全員が経営者の目線に立ち、切磋琢磨し、協力することで、より良い企業体を創り上げます。

Fair & Open

わかりやすく、公平に。
私たちは、フェアでオープンな環境、関係を築きます。

Diversity

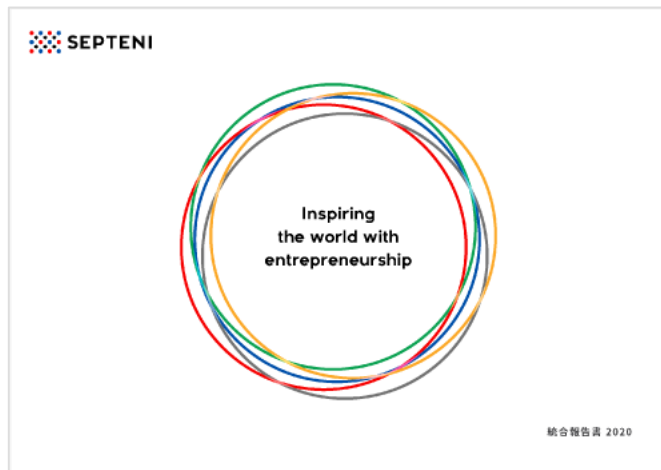
ダイバーシティを競争力に。私たちは、あらゆる人権を尊重し、多様性を認め合い、ひとりひとりの強みが発揮される働き方を実現します。

Passion

情熱を持ち続ける。私たちは、情熱が能力を高め、結果を生み出す持続力になると考えます。自己成長によって企業成長を促し、社会に貢献していきます。

Free & Rule

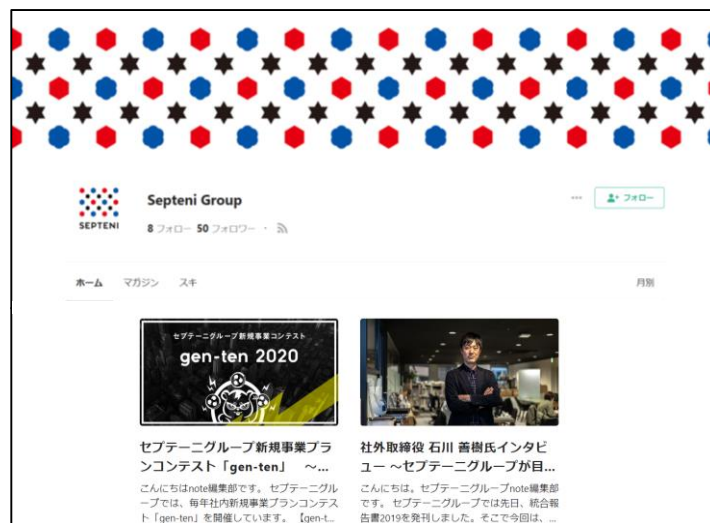
規律と自由。私たちは、損得より善悪で判断し、関連する法令と法の精神を遵守し、厳しく、楽しく、自らの仕事に熱中します。



統合報告書2020

2020年度版統合報告書を発刊しました
当社グループの中長期での経営方針と事業戦略、
事業活動における価値創造の全体像を公開しております

詳細は当社ウェブサイト (https://www.septeni-holdings.co.jp/ir/library/integrated-report/integratedreport2020_ja.pdf)、
もしくは右のQRコードからご覧ください



セプターニグループ公式note

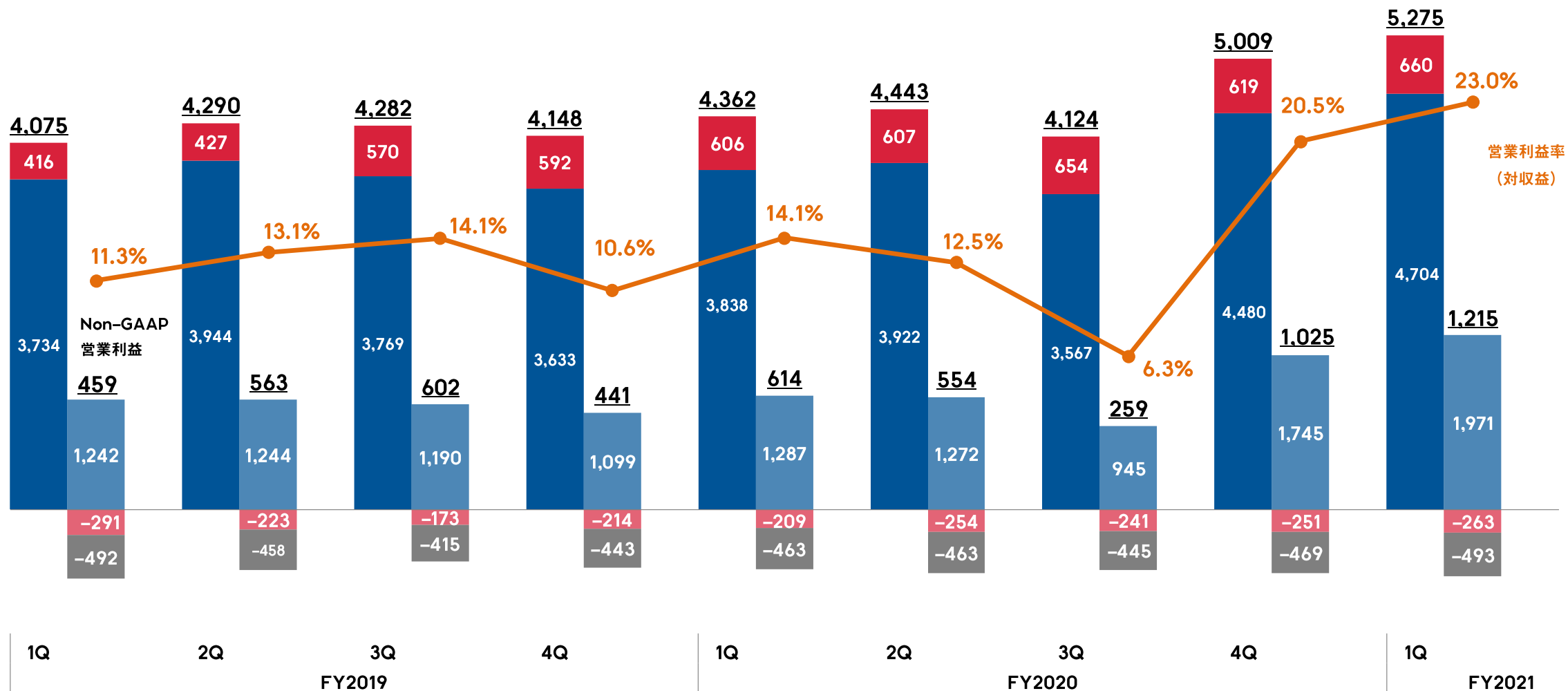
2019年12月よりグループの公式noteをはじめました
統合報告書や開示資料には載せきれていない、
人やカルチャーにまつわる様々な取組みを紹介しています

詳細は以下URL (https://note.com/septeni_group)、
もしくは右のQRコードからご覧ください



33 連結業績四半期推移（セグメント別）

■ デジタルマーケティング ■ メディアプラットフォーム ■ 調整額（全社費用等）（単位：百万円）



※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益（下線付数値）は一致しない

34 デジタルマーケティング事業 四半期推移



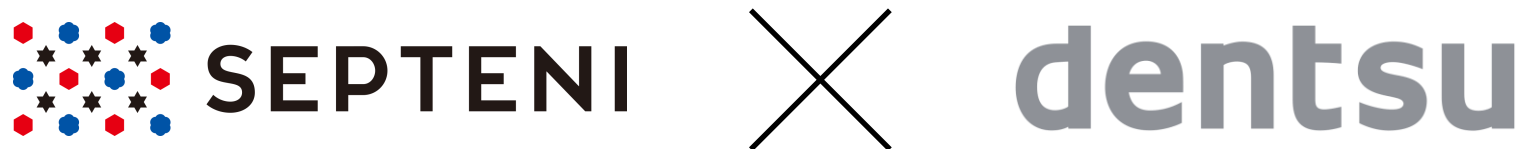
(単位：百万円)	FY2019				FY2020				FY2021
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q
売上高（取扱高）	19,169	19,491	19,012	17,639	18,770	18,524	16,041	21,393	22,605
収益	3,734	3,944	3,769	3,633	3,838	3,922	3,567	4,480	4,704
国内収益	3,373	3,557	3,391	3,356	3,468	3,702	3,380	4,293	4,429
海外収益	360	387	378	277	370	220	187	187	275
海外収益比率	9.7%	9.8%	10.0%	7.6%	9.6%	5.6%	5.2%	4.2%	5.8%
収益比率（対売上高）	19.5%	20.2%	19.8%	20.6%	20.4%	21.2%	22.2%	20.9%	20.8%
Non-GAAP営業利益	1,242	1,244	1,190	1,099	1,287	1,272	945	1,745	1,971
Non-GAAP営業利益率 （対収益）	33.3%	31.5%	31.6%	30.2%	33.5%	32.4%	26.5%	38.9%	41.9%
ブランド広告取扱高（億円）	11.9	13.9	13.5	13.5	15.0	16.9	13.0	18.6	22.9
ブランド広告構成比	6.2%	7.2%	7.1%	7.6%	8.0%	9.1%	8.1%	8.7%	10.1%
電通グループ協業顧客数	-	8	13	16	24	35	47	54	57

35 マンガコンテンツ事業 四半期推移



	FY2019				FY2020				FY2021
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
マンガコンテンツ事業収益（指数）※1	103	127	112	134	125	176	94	107	133
サブスクリプション収益（指数）※2	1,134	1,570	2,335	2,732	2,936	3,417	3,596	4,378	4,537
GANMA! ARPU（円）※3	36.6	53.3	48.9	60.5	51.3	39.8	31.9	29.9	44.0
コマース収益（百万円）	6	14	26	26	17	39	29	36	50

※1 FY2018/1Qの収益を100として指数化、※2 FY2017/1Qの収益を100として指数化、※3 毎Qの最終月の数値を表示



両社（セプターニグループ及び電通グループ）の連携により、

多様な才能を持った人材が集う働きがいあふれる組織環境を基盤として

顧客に対して最も優れたソリューションを提供することで業界の発展を牽引する、

国内最大のデジタルマーケティングパートナーになることを目指す

両社における専門性の違い・強みを活かし、短期・中期での施策を通じた
シナジー創出により顧客に提供する付加価値を向上させる



SEPTENI

短期・中期的施策群

dentsu

当社から電通グループへ
デジタルマーケティング事業の
ナレッジ、テクノロジーの提供

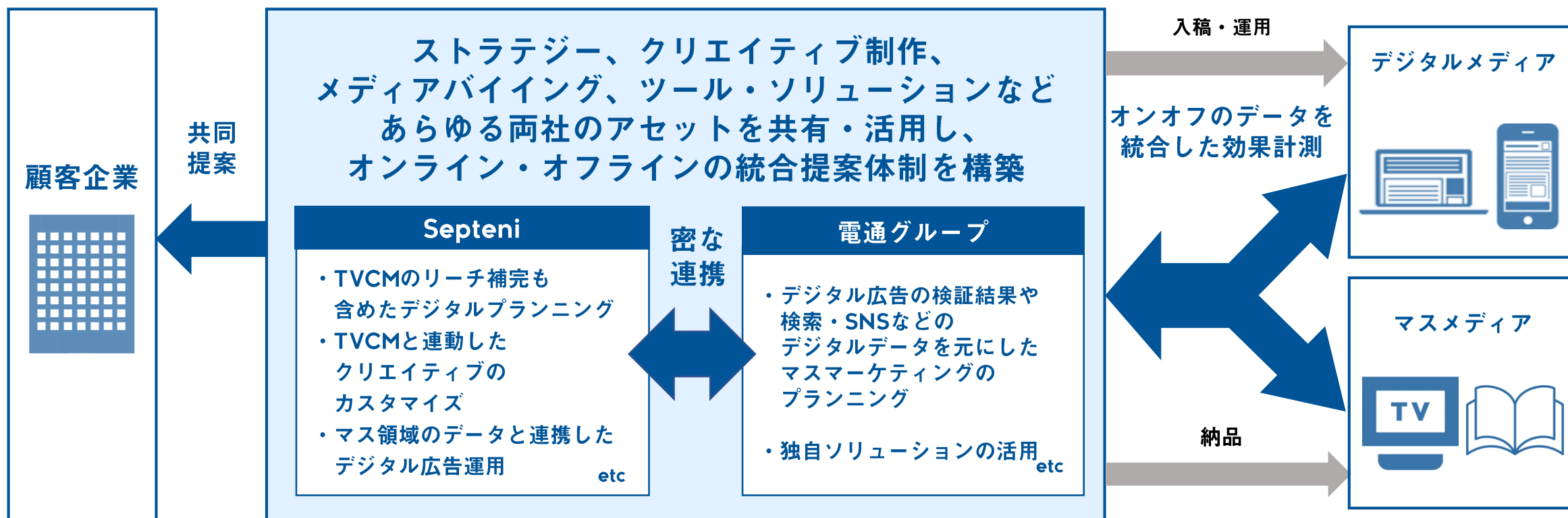
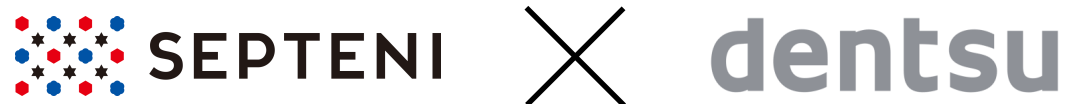
GANMA! を中心とした
当社メディアやプロダクトの
電通グループによる販売

電通グループが取り扱う
デジタルマーケティング案件の
広告運用を当社より支援

両社が保有する
データ資産の相互活用

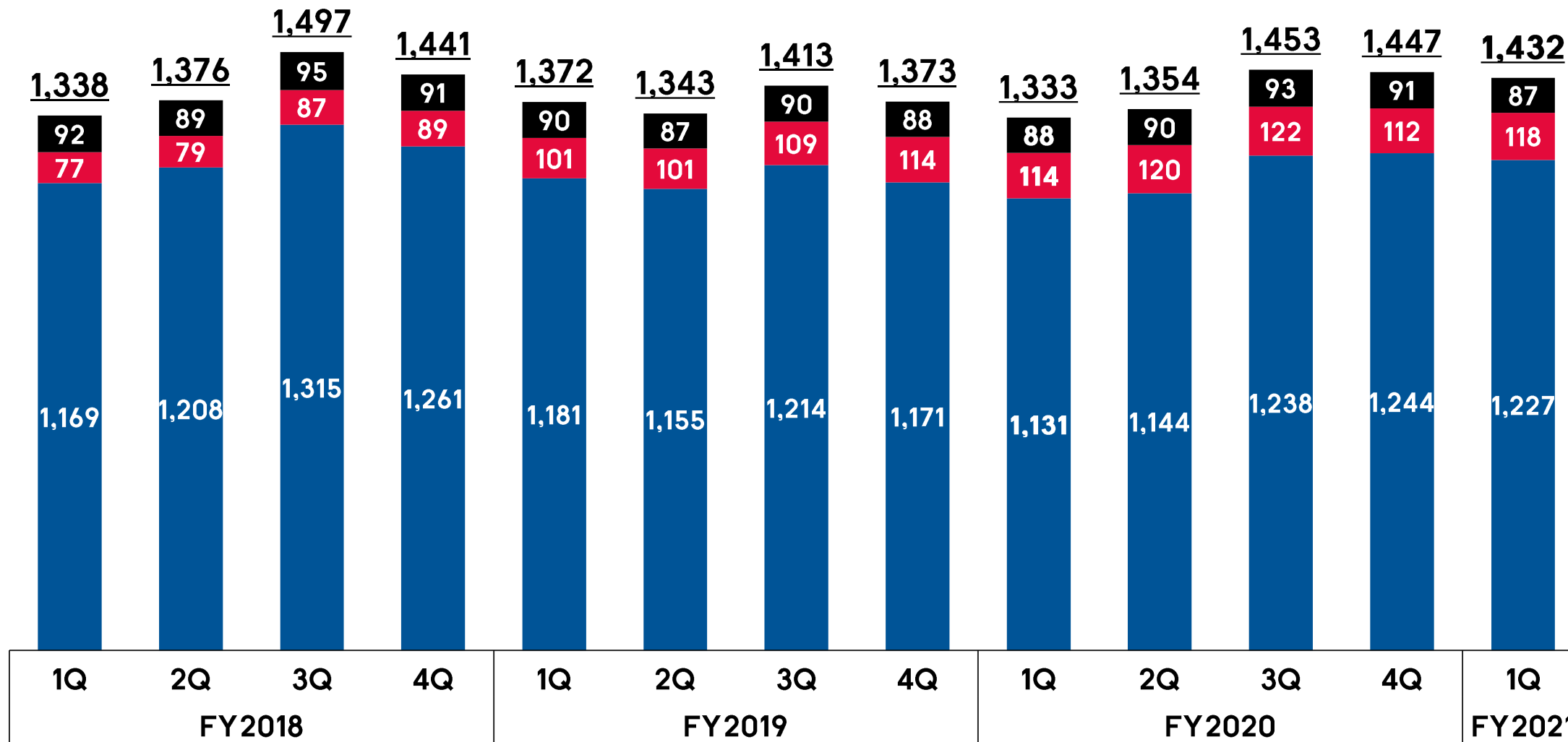
両社の顧客基盤を活用した
オンライン/オフライン広告の
統合マーケティング提案

両社の顧客基盤を活用したオンライン・オフライン広告の 統合マーケティング提案（イメージ）



39 連結従業員数推移

■ デジタルマーケティング事業 ■ メディアプラットフォーム事業 ■ 持株会社 (単位: 名)



純粋持株会社

セプテーニ・ホールディングス

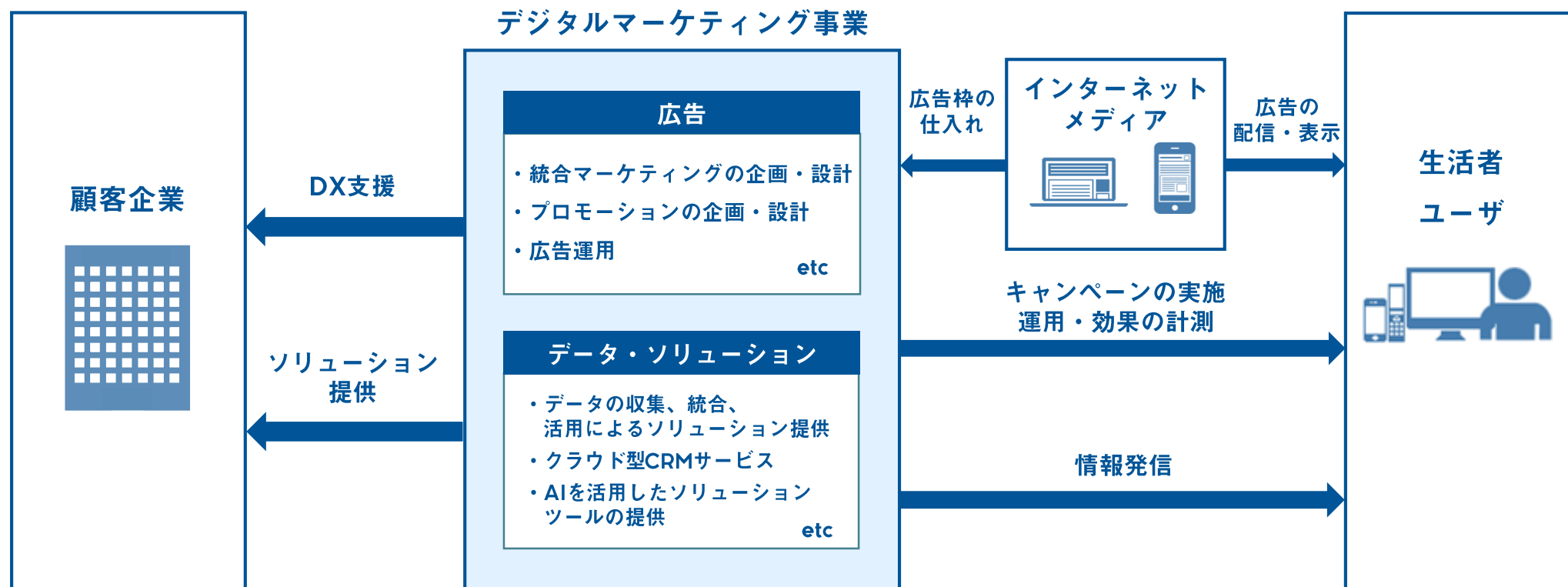
デジタルマーケティング事業

Septeni Japan	デジタルマーケティング支援事業	FLINTERS	データ・ソリューション領域における企画、開発、販売
セプテーニ・クロスゲート	アドネットワーク、プラットフォーム事業	トライコーン	CRMサービス事業
Septeni America	北米地域におけるデジタルマーケティング支援事業	ミロゴス	デジタルマーケティング支援事業
Lion Digital Global	東南アジア地域におけるデジタルマーケティング支援事業	JNJ INTERACTIVE	韓国におけるデジタルマーケティング支援事業

メディアプラットフォーム事業

コミックスマート	マンガコンテンツ事業	gooddo	社会貢献プラットフォーム事業
ビビビット	採用プラットフォーム事業	Pharmarket	医療プラットフォーム事業
TowaStela	育児プラットフォーム事業		

デジタル広告の販売と運用をはじめ、データ、AIを活用したソリューションの提供、
電通グループとの提携によるオンライン・オフライン統合によるマーケティング支援等、
デジタルマーケティングを中心として、
企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）における総合的な支援を行う



「マンガコンテンツ事業」では、**自社IP(知的財産)の企画・開発**を目的にマンガ家の育成・支援を手がけるとともに、専属作家によるオリジナル作品を中心に構成されたマンガアプリ「GANMA!」を**自社メディア**として運営

その他に、社内ベンチャーから生まれた新規事業として、「採用」「社会貢献」「医療」「育児」に関するプラットフォーム型の事業等を展開



(単位：百万円)

	2021年9月期 1Q末	2020年9月期 期末	増減
流動資産合計	28,539	27,373	+1,166
非流動資産合計	7,030	7,052	△22
資産合計	35,569	34,425	+1,144
流動負債合計	16,037	15,314	+723
非流動負債合計	3,115	3,299	△184
負債合計	19,152	18,613	+539
資本合計	16,417	15,811	+605
負債及び資本合計	35,569	34,425	+1,144

※ 2020年9月期よりIFRS16（リース会計基準）の適用に伴い、将来において支払うべき賃借料等を資産の部における使用权資産、負債の部におけるその他の金融負債として計上